



足利小山信用金庫

ASHIKAGA OYAMA
SHINKIN BANK

2020年度 上半期のご報告

(2020年4月1日～2020年9月30日)

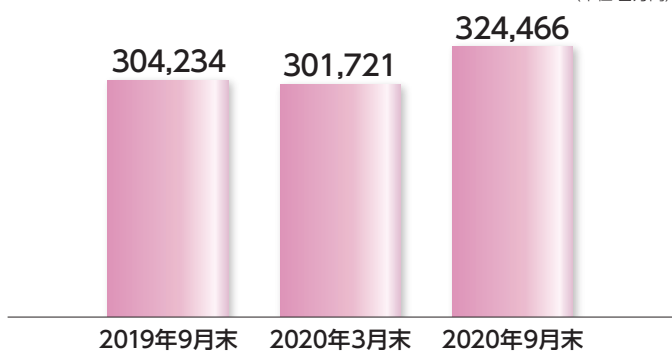
預金積金・貸出金の状況

2020年9月末の預金積金残高は、流動性預金・定期性預金ともに順調に推移し、前年度末より227億44百万円増加の3,244億66百万円となりました。

貸出金残高は、地域のお客さまに対して、必要な資金を円滑に供給するため積極的な営業活動に努めた結果、事業性融資や地方公共団体への貸出が増えたことから、前年度末より107億13百万円増加の1,489億56百万円となりました。

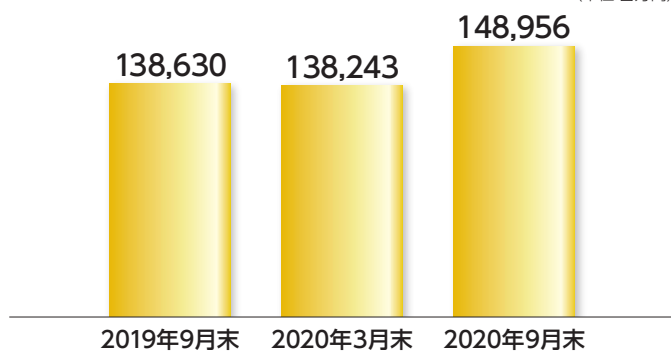
預金積金残高

(単位:百万円)

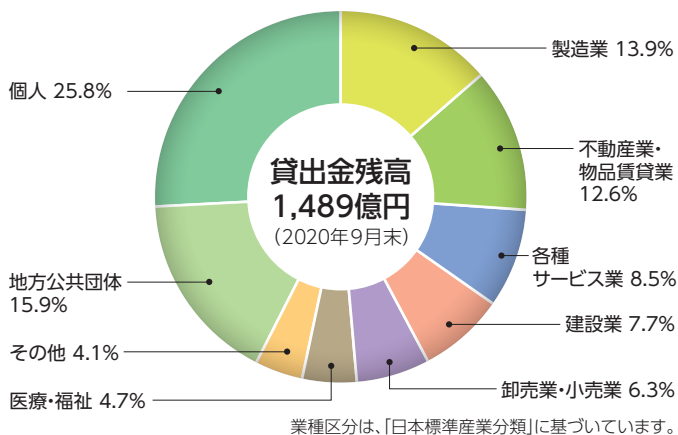


貸出金残高

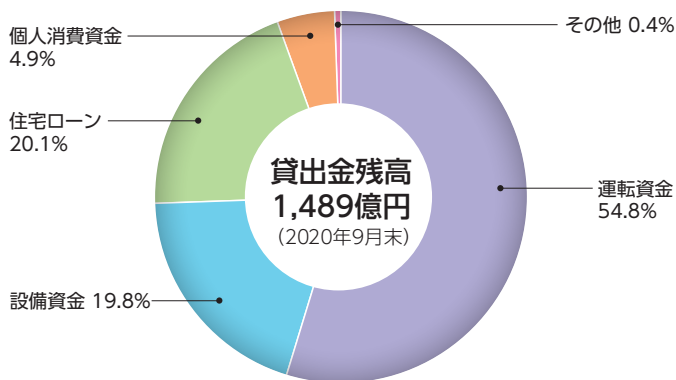
(単位:百万円)



貸出金業種別内訳



貸出金使途別内訳

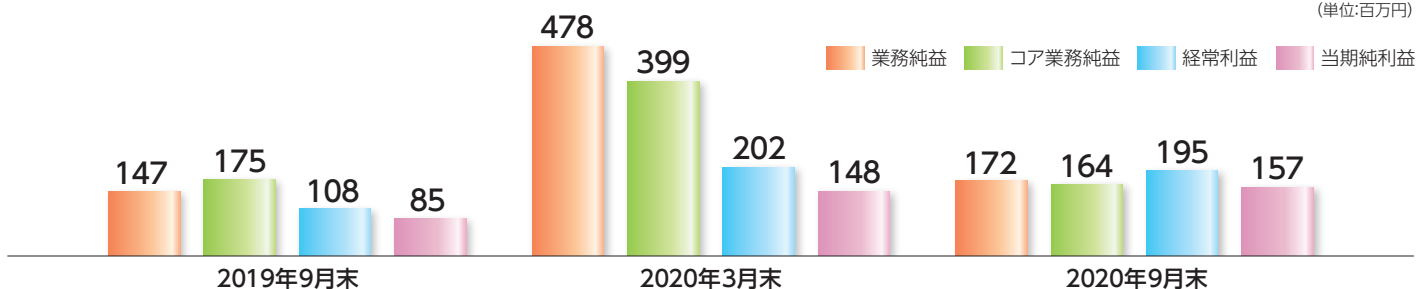


損益の状況

2020年9月末の業務純益は1億72百万円、経常利益は1億95百万円、当期純利益は1億57百万円となりました。なお、金融機関の本来の収益力を示すコア業務純益は1億64百万円となりました。

業務純益・コア業務純益・経常利益・当期純利益

(単位:百万円)



(注) 2019年9月末および2020年9月末は4月から9月までの6ヵ月間の計数です。

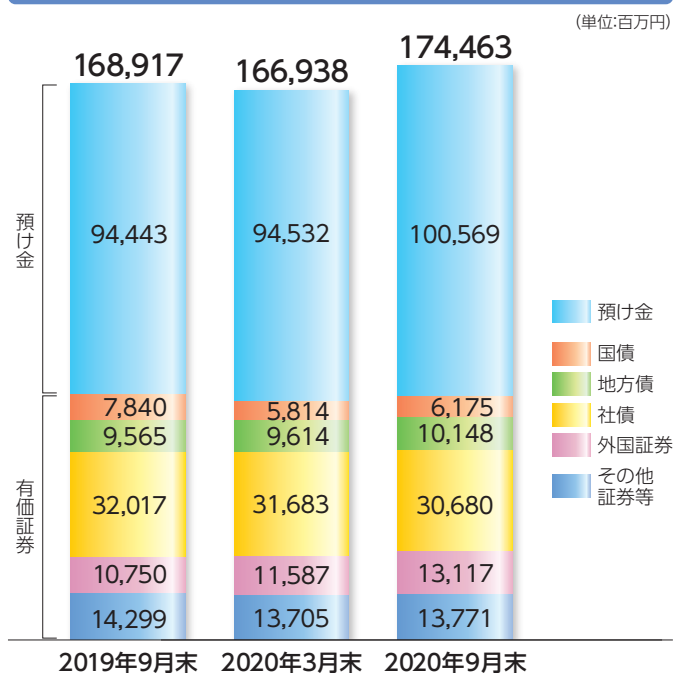
有価証券・預け金の状況

皆さまからお預かりした預金は貸出金としての運用のほかに、有価証券や預け金としても運用しています。

有価証券は、安全性と流動性を最優先するという方針のもと、国内債券を中心に運用を行っています。2020年9月末の残高は、前年度末より14億88百万円増加の738億94百万円となりました。

預け金は、主に全国の信用金庫の中央機関である信金中央金庫で運用しており、2020年9月末の残高は前年度末より60億36百万円増加の1,005億69百万円となりました。信金中央金庫は総資産40兆円を超えるわが国有数の規模を有する金融機関であり、信用格付けもAAを取得しています。

有価証券種類別残高と預け金残高



有価証券の時価及び評価損益等

「売買目的有価証券」「子会社・子法人等株式及び関連法人等株式」該当ありません。

満期保有目的の債券

該当ありません。

時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券 (単位:百万円)

2020年9月末	
貸借対照表計上額	
非上場株式	28
その他の証券	6
合計	35

その他の有価証券

(単位:百万円)

種類	2020年9月末			
	貸借対照表計上額	取得原価	差額	
貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの	株式	81	72	9
	国内債券	38,151	37,761	389
	国債	5,781	5,642	139
	地方債	9,653	9,543	110
	社債	22,716	22,576	140
	外国証券	8,011	7,796	214
	投資信託	10,366	9,743	622
小計	56,611	55,375	1,236	
貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの	株式	106	144	△37
	国内債券	8,853	8,944	△91
	国債	394	396	△2
	地方債	495	496	△0
	社債	7,964	8,051	△87
	外国証券	5,106	5,214	△108
	投資信託	3,181	3,251	△70
小計	17,247	17,555	△307	
合計	73,859	72,930	928	

(注) 1. 貸借対照表計上額は、期末日における市場価格等に基づいております。
2. 時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券は本表には含めておりません。

金銭の信託の時価及び評価損益等

「運用目的の金銭の信託」「満期保有目的の金銭の信託」

該当ありません。

その他の金銭の信託

(単位:百万円)

2019年9月末				
貸借対照表計上額	取得原価	差額	うち貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの	うち貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの
0	0	0	0	—

デリバティブ取引の時価及び評価損益等

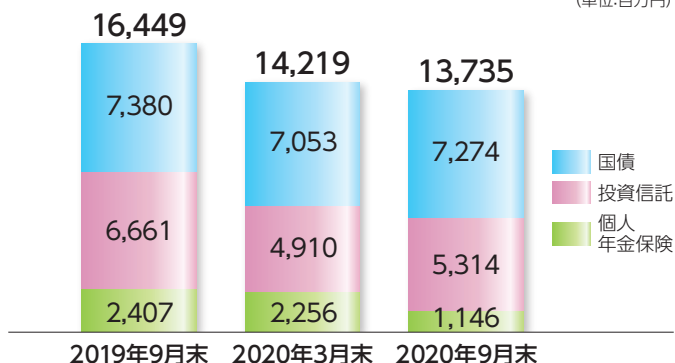
該当ありません。

預かり資産の状況

2020年9月末の預かり資産残高は、国債および投資信託は増加したものの、個人年金保険が減少したことから、前年度末比4億84百万円減少の137億35百万円となりました。

預かり資産種類別残高

(単位:百万円)



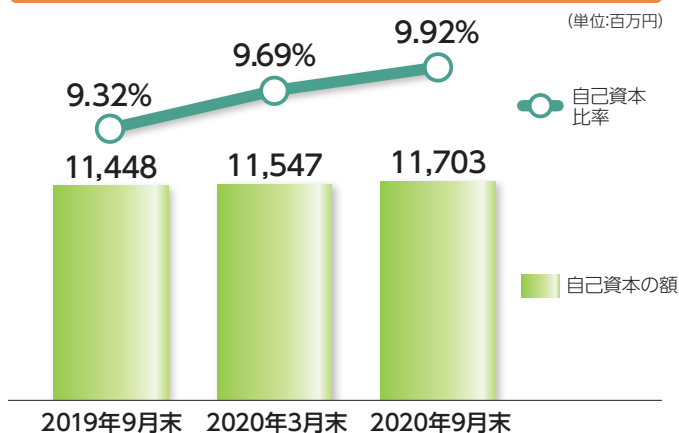
自己資本の状況

自己資本比率は、金融機関の健全性を示す重要な指標として用いられ、その水準が高いほど、経営がより健全であることを示しています。

2020年9月末の自己資本比率は、前年度末比0.23ポイント上昇し9.92%となりました。引き続き、国内基準である4%を大きく上回る水準を維持しています。

また、自己資本の額は前年度末より155百万円増加し117億3百万円となりました。

自己資本比率と自己資本の額



自己資本の構成

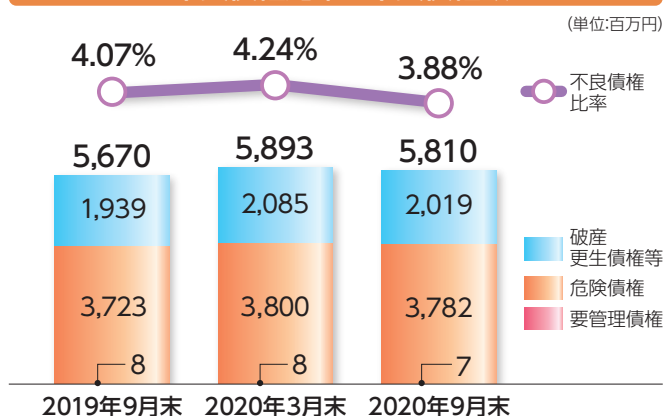
	2019年9月末	2020年3月末	2020年9月末
自己資本の額	11,448	11,547	11,703
コア資本に係る基礎項目の額	11,504	11,598	11,760
コア資本に係る調整項目の額	56	50	56
リスク・アセット等の額の合計額	122,739	119,163	117,876
信用リスク・アセットの額の合計額	116,437	112,936	111,648
オペレーショナル・リスク相当額の合計額 ÷ 8%	6,302	6,227	6,227
自己資本比率	9.32%	9.69%	9.92%

不良債権の状況

金融再生法上の不良債権額は、取引先の経営改善支援や不良債権処理を進めたことで、前年度末比83百万円減少し、58億10百万円となりました。

当金庫では厳格な引当を実施しており、担保や保証、貸倒引当金などにより48億52百万円が保全されています。さらに、その他利益剰余金92億93百万円により十分カバーされていることから、不良債権に対する備えは万全です。

不良債権比率と不良債権額



金融再生法に基づく開示債権額

	2019年9月末	2020年3月末	2020年9月末
金融再生法上の不良債権	5,670	5,893	5,810
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	1,939	2,085	2,019
危険債権	3,723	3,800	3,782
要管理債権	8	8	7
正常債権	133,402	132,915	143,704
合計	139,072	138,808	149,514

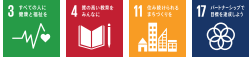
お客さまと地域を支援します

足利小山信用金庫SDGs宣言

2020年3月30日

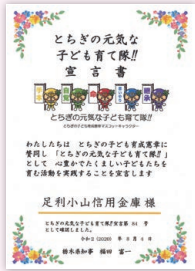
SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

SDGs(エスディーゼーズ)は、2015年9月に国連サミットで採択された「Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)」の略称で、「誰一人取り残さない」との基本理念のもと、貧困や飢餓、水、保健、教育、医療、言論の自由など、人々が人間らしく暮らしていくための社会的な基盤を2030年までに国際社会が達成するという共通の目標です。



とちぎの元気な子ども育て隊!! 宣言

県が策定した「とちぎの子ども育成憲章」に当金庫は賛同し、子どもたちの健全な育成のためにお金と世の中の仕組みの教育機会として、地元小学校にて宇都宮財務事務所と共同の金銭教育授業を実施しています。今後も青少年を対象に職場体験学習など、さまざまな社会貢献活動を継続する「とちぎの元気な子ども育て隊!!」として宣言し、8月4日に県より宣言第84号の確認を受けました。



新型コロナウイルス対策に関するWEBセミナー

新型コロナウイルスの影響を受ける取引先への支援として、当金庫初のWEBセミナーを6月23日に開催しました。株式会社エフアンドエムから専門家を招き、厚生労働省の雇用調整助成金など各種支援制度の概要や活用方法および今後の企業経営の考え方等について講演、85社が参加しました。

セミナー終了後にも個別に支援を継続しています。

新商品

「うきうき定期」の取扱開始

当金庫は、「うきうき定期」を2020年11月2日より取り扱いを開始しました。同商品は、お客さまの投資信託ご購入額と同額まで定期預金の金利を店頭表示金利より0.25%上乘せするものです。投資信託が初めてのお客さまには、当金庫職員が丁寧に将来の資産形成も踏まえてご案内いたします。

取引先への支援事例

支援事例 ①

事業承継支援

A社の課題

総合的な福祉事業に取り組むA社からビジネスマッチングの依頼を受けた当金庫は、その支援を進める中で、同社にとってこれからの大きな経営課題は事業承継であることを問題提起し、「目線合わせ」と「事業承継の見える化」を提案しました。

当金庫の取り組み

事業承継への進め方について、A社からコーディネート依頼を受けた当金庫は、種々のメニューの中から、県の事業引継ぎ支援センターに所属している「ブロックコーディネーター」の活用を同社に提案し、同社の現代表と次期代表候補を交え、4者による具体的な話し合いを実現しました。

現在のA社の状況

A社の将来像の目線合わせを含め、同社の事業承継問題を4者が共有できたことで、当金庫はそれに基づいた同社の「SWOT分析*」や「年単位での計画表(ロードマップ)」などを盛り込んだ「事業承継計画書」の作成を支援しました。この結果、「事業承継プロセスの見える化」が図られ、同社は将来を見据えた組織づくりにも着手できました。

現在、当金庫はA社のロードマップの進行をフォローしています。

* SWOT分析: 事業の外部環境における機会(Opportunity)と脅威(Threat)、および内部環境における強み(Strength)と弱み(Weakness)を把握し、機会・強みを活かした戦略を立案すること

(出所: 中小企業庁ホームページ)

支援事例 ②

販路拡大およびビジネスマッチング支援

B社の課題

開業後5年が経過し、売上は上がっているものの収益力に課題を抱えるパン製造販売業B社から相談を受けた当金庫は、よろず支援拠点コーディネーターと連携して、同社の販路拡大策、店舗運営コンセプト等の見直しを開始しました。

当金庫の対応

コーディネーターと当金庫は、B社店舗立地状況や客層(年代)等の調査とともに、同社代表の考え・要望等のヒアリングと話し合いを重ねた後、「B社店舗駐車場スペースにテントを設け、イートインスペースとしての活用と地域特産品・野菜等の販売」を提案し、同社に採用されました。

その後、当金庫取引先の野菜卸業者をB社へ紹介し、両社間の月毎の販売回数や仕入れ・支払方法等条件の合意形成を当金庫がサポートし、ビジネスマッチングが成功しました。併せて、当金庫はB社の新たな販売に対し、補助金の紹介や申請支援を行いました。

B社の現状

コロナ禍の影響もあり、B社店舗のパンと地域特産品類を併売するコンセプトについてはイートインスペースの縮小を行いましたが、当金庫は今後もコロナ等の状況を注視しながら、コーディネーターと連携し、同社店舗運営と店内配置の見直し等を行い、継続して支援しています。

駅東支店、11月24日に新装オープン

駅東支店は店舗の建て替え工事が完了し、11月24日に新装オープンしました。店舗の外観は、平屋でもお客さまの目に留まりやすい大型ひさしを設けました。また、従来店舗より広めの駐車場とスロープのあるエントランスも特長です。店舗内部は円形ロビーと明るい色合いを使用したデザインで心地の良い空間です。ご来店のお客さまの使いやすさと親しみやすさに配慮しました。



店舗のご案内

(2020年11月1日現在)

店名	住所	電話	平日ATM 営業時間	店名	住所	電話	平日ATM 営業時間
本店営業部	足利市井草町2407-1	0284 (21)8101	8:45~19:00	小金井支店 ■	下野市川中子3328-153	0285 (44)5522	8:45~19:00
葉鹿支店	足利市葉鹿町1-24-4	0284 (62)0111	8:45~19:00	城南支店	小山市東城南5-6-11	0285 (27)4511	8:45~19:00
八幡支店	足利市八幡町519-6	0284 (71)1174	8:45~19:00	城東支店	小山市城東6-10-10	0285 (24)6001	8:45~19:00
福居支店	足利市福居町624-3	0284 (71)1351	8:45~19:00	粟宮支店	小山市大字粟宮746-2	0285 (21)3011	8:45~19:00
助戸支店	足利市芳町23-1	0284 (41)6121	8:45~19:00	石橋支店 ■	下野市石橋235-5	0285 (53)1150	8:45~19:00
富田支店 ■	足利市多田木町74-1	0284 (91)0429	8:45~19:00	栃木卸センター支店 ■	栃木市樋ノ口町455-4	0282 (20)5551	8:45~19:00
南支店 ■	足利市八幡町1-2-6	0284 (72)8311	8:45~19:00	ローンプラザ足利	足利市今福町341-11	0284 (21)8142	—
山前支店	足利市鹿島町1109-1	0284 (62)7111	8:45~19:00	ローンプラザ小山	小山市宮本町2-3-8	0285 (22)1512	—
北支店	足利市江川町1-17-15	0284 (44)1151	8:45~19:00	コンサルティングプラザ足利	足利市今福町341-11	0284 (21)1117	—
毛野支店	足利市八瀬町485-1	0284 (43)1100	8:45~19:00	コンサルティングプラザ小山	小山市宮本町2-3-8	0285 (32)7103	—
邑楽支店 ■	邑楽郡邑楽町大字新中野123-36	0276 (88)7751	8:45~19:00	今福出張所	現金自動預入支払機コーナー		8:45~19:00
蕪川支店 ■	太田市台之郷町1458-1	0276 (22)8181	8:45~19:00	宮本町出張所	現金自動預入支払機コーナー		8:45~19:00
小俣支店 ■	足利市小俣町501-5	0284 (64)1211	8:45~19:00	小山市役所出張所	現金自動預入支払機コーナー		8:45~18:00
大泉支店 ■	邑楽郡大泉町西小泉1-12-23	0276 (62)0121	8:45~19:00	小山駅ビル出張所	現金自動預入支払機コーナー		7:00~21:00
小山営業部	小山市城山町1-3-27	0285 (23)2451	8:45~19:00	東間々田出張所	現金自動預入支払機コーナー		8:45~19:00
間々田支店	小山市大字間々田1179	0285 (45)1152	8:45~19:00	足利市役所第二共同出張所 ※	現金自動支払機コーナー		9:00~19:00
駅東支店 ■	小山市駅東通り2-38-3	0285 (24)4311	8:45~19:00	足利商工会議所共同出張所 ※	現金自動支払機コーナー		9:00~18:00
野木支店 ■	下都賀郡野木町大字丸林416-6	0280 (57)3411	8:45~19:00	県庁共同出張所 ※	現金自動預入支払機コーナー		8:45~18:00

- 土・日・祝日のATM営業時間は原則として9:00~17:00となっています。
- ご利用日、時間によりATM利用手数料が掛かります。
- 11:30~12:30の間は窓口休業としています。

※平日のみの営業となっています。

足利小山信用金庫の概要

(2020年9月30日現在)

本店所在地 〒326-0811

栃木県足利市井草町2407-1

店舗数

24本支店8出張所
(うち共同出張所3)

預金積金残高 3,244億円

貸出金残高 1,489億円

出資金 11億円

会員数 25,632名

常勤役職員数 284名

お問い合わせ先

足利小山信用金庫 経営企画部

TEL:0284-20-8000 FAX:0284-21-0576

ホームページ

<http://www.ashikagaoyamashinkin.co.jp/>

本誌に掲載されている2019年9月末および2020年9月末の計数につきましては、仮決算のため会計監査人の監査を受けておりません。また、掲載している計数は単位未満を切り捨てて表示しています。したがって項目ごとの合計の計数が一致していない場合があります。

発行:2020年11月

UD FONT

見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。



本誌は、FSC®認証紙を使用し、
環境に配慮した植物油インキを使用しています。